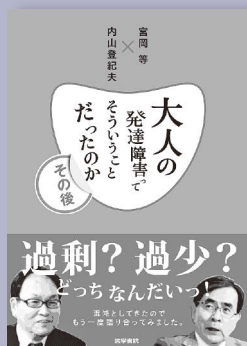


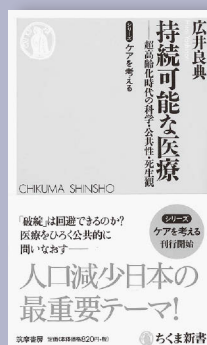
今月の 新刊紹介



大人の発達障害って そういうことだったのか その後

著：宮岡等／内山登紀夫
発行：医学書院
定価：本体 3000 円＋税

「大人の発達障害」をテーマに、2 人の精神科医がとことん語り合う対談録、待望の第 2 弾。自閉症スペクトラムや ADHD 診療の基本はもちろん、過剰診断と過少診断、高齢者の発達障害、安易な薬物療法、デイケアやリワークのメリット・デメリットなど、これまであまり語られなかったテーマにも切り込んだ。

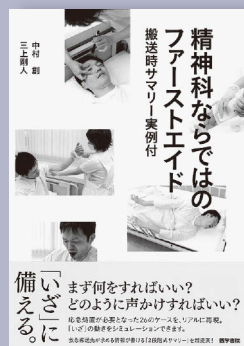


持続可能な医療

超高齢化時代の科学・公共性・死生観

著：広井良典
発行：筑摩書房
定価：本体 820 円＋税

超高齢化、人口減少が本格化した日本社会の課題を、医療領域から論じる。科学、社会システム、ケア、コミュニティ、死生観など広範かつ異質なテーマが交差する医療全体を俯瞰し、そのありようや社会での位置づけを広く問い直す。持続可能な医療、社会を構想するための思想と道筋を明快に示した。



精神科ならではの ファーストエイド 搬送時サマリー事例付

編集：中村創／三上剛人
発行：医学書院
定価：本体 2400 円＋税

精神科ならではの緊急時の対応を、自傷、自殺、事故、急変の 4 項目 26 事例で解説。現場を再現した写真を豊富に用いて、とるべき行動を具体的に示した。また、救急搬送先が求める情報のまとめ方を、オリジナル 2 段階サマリーで提示。発生から搬送までの一通りの対応がシミュレーションできる。



おとなの学びとは何か 学び合いの共生社会

著：三輪建二
発行：鳳書房
定価：本体 2500 円＋税

少子化と低成長の日本社会では、自由競争を前提とする学びから、「学び合いの共生社会」への移行が求められる。本書では「おとなの学び（アンドラゴジー、意識変容の学習）」「省察（リフレクション）」をキーワードに、学校や企業、地域社会、看護界での学びと学び合いを展望した。



これならわかる スッキリ図解 介護保険 第 3 版

著：高野龍昭
発行：翔泳社
定価：本体 1400 円＋税

「地域包括ケア強化法」施行に伴い、介護保険制度が改正された。本書では制度改正と 2018 年度の介護報酬改定のポイントを分かりやすく解説。さらに、財政的インセンティブや ICT 導入などの課題、医療制度や障害福祉サービスの見直し、次回の改正ポイントまで、さまざまな視点から読み解く。



教師の省察的実践 学校教育と生涯学習

編：I・ラシュトン／M・スーター
訳：三輪建二
発行：鳳書房
定価：本体 2800 円＋税

教師の省察的実践について、基礎モデルから協働における実践、アクションリサーチによる展開などを、具体的な事例を交えて解説。英国の看護教員を含むさまざまな分野の教師が、自らの実践を省察し、抱える問題の本質をつかみ、実践を改善していく道筋を提示する。看護管理者にも示唆の多い 1 冊。